平成24年11月29日

# 病害虫発生予報 12月号

茨城県病害虫防除所 茨城県植物防疫協会

# 今年の防除作業を振り返り、次作の防除日誌などの 準備をしましょう!

< 目 次 >

詳しくは、病害虫防除所へお問い合わせ下さい。

茨城県病害虫防除所 Tel:029-227-2445

予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。

ホームページアドレス http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/

## I. 今月の予報

## 【注意すべき病害虫】

イチゴ

## 1. うどんこ病

## 「予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並	平年並~やや多い	県下全域

#### 「予報の根拠〕

- ① 11月下旬現在,発病葉率,発病果率ともに平年並である。発生程度は圃場による差が大きい。
- ② 気象予報によると、向こう1か月の日照時間は平年並か平年より少ないと予想され、発生をやりいまする条件である。

## 「防除上注意すべき事項]

- ① 発生が多くなると防除が困難になるため、初期防除を徹底する。
- ② 罹病部は新たな伝染源となるため、できるだけ取り除き、ハウス外に持ち出して処分する。
- ③ 薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。
- ④ 発病の予防には、硫黄のくん煙処理が省力的で有効である。
- ⑤ ミツバチ導入及び天敵放飼後の薬剤防除は、ミツバチ及び天敵への影響に十分注意する。
- ⑥ 薬剤によっては、果実に汚れが付くものもあるので、十分注意する。

## 2. ハダニ類

## [予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並	多い	県下全域

## 「予報の根拠〕

① 11月下旬現在、被害葉率、発生地点率ともに平年より高い。

## [防除上注意すべき事項]

- ① ハダニ類は増殖が速いので、発生の少ないうちに防除を徹底する。
- ② 薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、気門封鎖剤を除き同一薬剤の連用を避ける。
- ③ ミツバチ導入及び天敵放飼後の薬剤防除は、ミツバチ及び天敵への影響に十分注意する。

# 促成ピーマン

# 1. うどんこ病

## [予報内容]

発生時期	発 生 量	発生地域
平年並	やや多い~多い	鹿行地域

## [予報の根拠]

- ① 11月下旬現在,発病度は平年並~やや高く,発生地点率は平年より高い。
- ② 気象予報によると、向こう1か月の日照時間は平年並か平年より少ないと予想され、発生をやや助長する条件である。

## [防除上注意すべき事項]

- ① 発生が多くなると防除が困難になるため、発生が少ないうちに防除を徹底する。
- ② 罹病部は新たな伝染源となるため、できるだけ発病葉を取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ③ 薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう、十分な量で丁寧に散布する。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。

# 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項	
促成ピーマン	ハダニ類	発生量:やや多い	11月下旬現在、平年よりやや多い発生である。	
	アザミウマ類	発生量:平年並 ~やや多い	11月下旬現在,平年並~やや多い発生である。	

## Ⅱ. 今月の気象予報

## 関東甲信地方1か月予報

(予報期間 11月24日から12月23日)

気象庁(11月23日発表)

< 向こう1か月の気温,降水量,日照時間の各階級の確率(%)> [確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い (多い)
気温	関東甲信全域	50	30	20
降水量	関東甲信全域	20	40	40
日照時間	関東甲信全域	40	40	20

## [概要]

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

- <1 週目の予報> 11 月 24 日 (土曜日) から 11 月 30 日 (金曜日) 気温 関東甲信地方 低い確率 50%
- <2 週目の予報>12 月 1 日 (土曜日) から 12 月 7 日 (金曜日)気温関東甲信地方平年並または低い確率 40%
- <3 週目から 4 週目の予報> 12 月 8 日 (土曜日) から 12 月 21 日 (金曜日) 気温 関東甲信地方 平年並または低い確率 40%

# 農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬のラベルを必ず確認し、適用作物、使用方法、注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には、周辺作物に飛散 (ドリフト) しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 使用後は散布器具やホース内等に薬液を残さず、良く洗浄しましょう。